

病院だより

Vol.386

SHOWA Medical University Fujigaoka Hospital

早く見つけて、 やさしく治す乳がん治療

乳腺外科 准教授 榎戸 克年

Report

患者さんからのご意見・ご要望

編集後記

「雨に想う・・・」

循環器内科 磯 良崇



SHOWA Medical University Fujigaoka Rehabilitation Hospital

June

6

月号



昭和医科大学

早く見つけて、やさしく治す乳がん治療

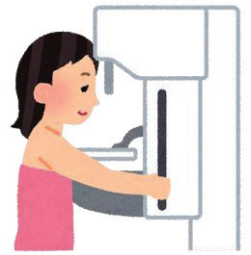
藤が丘病院 乳腺外科 准教授：榎戸 克年

乳腺外科では、乳房に関わるさまざまな疾患の診断と治療を行っています。代表的な疾患は乳がんですが、そのほかにも良性腫瘍（線維腺腫）、乳腺症、乳腺炎など、多様な病態に対応しています。中でも乳がんは、日本人女性の9人に1人が罹患するといわれる身近な病気です。一方で、早期に発見し適切な治療を行えば、治癒が期待できるがんでもあります。だからこそ大切なのが「早く見つけること」、そして「体にやさしく、その人に合った治療を行うこと」です。

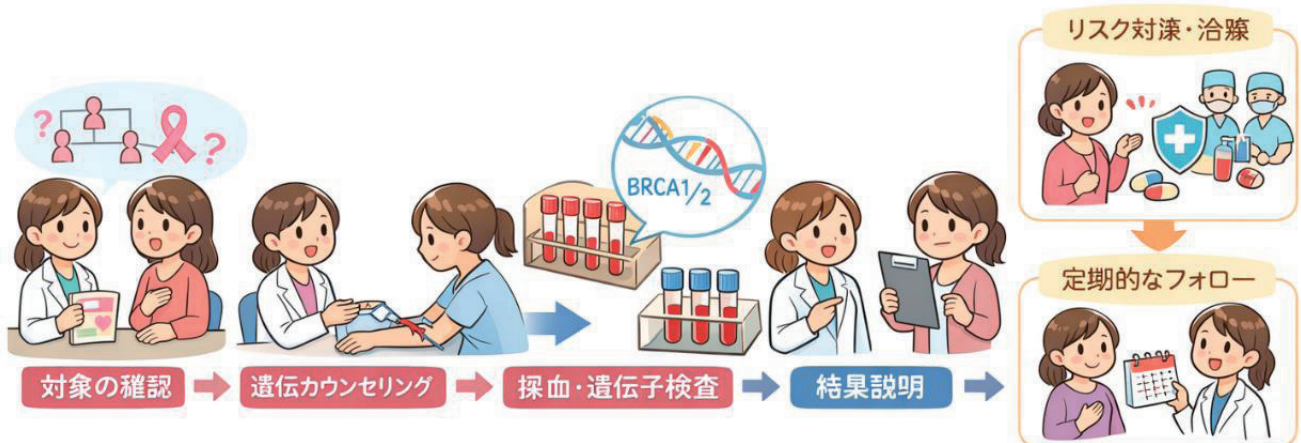
乳がんの初期は自覚症状が乏しく、しこりや痛みを感じないまま進行することも少なくありません。そのため、定期的な検診が重要です。マンモグラフィや超音波検査により、症状が現れる前の小さな変化を捉えることが可能です。当科では、これらの検査に加え、必要に応じてMRIや針生検を行い、より正確で早期の診断に努めています。特に微細な石灰化に対しては、ステレオガイド下生検を導入し、診断精度のさらなる向上を図っています。

治療の面でも乳がん医療は大きく進歩しており、現在はがんの性質や患者さん一人ひとりの状況に応じた「個別化医療」が主流となっています。乳がんはホルモン受容体やHER2などの特徴によっていくつかのタイプに分類され、それぞれに最適な治療が選択されます。こうした治療の進歩により、治療成績は着実に向上しています。

当科が現在特に力を入れているのは、「遺伝性乳がんへの対応」と「がんゲノム医療」です。遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）は、BRCA1/2遺伝子の変異によって発症リスクが高まることが知られています。これらの遺伝子検査は、一定の条件のもとで保険診療として実施可能であり、適切なカウンセリングを行ったうえで、予防や治療方針の決定に活用しています。これはご本人だけでなく、ご家族の将来の健康管理にも関わる重要な取り組みです。



BRCA遺伝子検査の流れ



さらに、進行・再発乳がんに対しては、がんゲノムプロファイリング検査を活用し、遺伝子レベルの情報に基づいた治療選択を行っています。これにより、従来の治療では効果が得られにくかった症例に対しても、新たな治療の可能性が広がっています。

乳がんは、「早く見つけることができれば、やさしく治すことができるがん」です。当科では、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供するとともに、不安に寄り添う診療を心がけています。



Report

患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんからいただきましたご意見・ご要望は、病院内全体で共有しております。掲載されていないご意見・ご要望につきましても別途対応しております。今後もお気づきの点がございましたら、お聞かせくださいますよう、お願い申し上げます。



ご意見・ご要望

看護師の皆様は、医療行為だけでなく、様々な雑用までこなしてくださり、頭の下がる思いです。特にMさんは、担当外にもかかわらず、当日翌日の予定を急ぎで調べていただき、特に感謝申し上げます。いろいろとありがとうございました。

回答・改善内容等

この度は温かいお言葉をいただき、誠にありがとうございます。日々の関わりをそのように受け止めていただけたことは、私どもにとって何よりの励みでございます。担当にかかわらず患者様に寄り添える看護を提供しようとしている姿勢を評価していただき、心より感謝申し上げます。これからも安心して療養していただける環境づくりに努めてまいります。

【藤が丘病院 看護部】

ご意見・ご要望

2/6～24まで入院しておりました。昼夜関係なく患者の皆さんに丁寧に対応している看護師の皆さんに大変感謝したいと思っておりました。入院中はストレス無く過ごす事が出来ました。本当にありがとうございました。

回答・改善内容等

お褒めの言葉をいただき、ありがとうございました。
患者さんからのお言葉は、スタッフの励みになります。今後も笑顔を忘れず、患者さんに寄り添い、より良い治療や看護ケア、適切な療養環境が提供できるように努めてまいります。

【藤が丘病院 4階西病棟】

待ち時間の長い北里大学病院でも3時間以内です。予約数の取り過ぎと思われます。

10時の予約時間（来院9時40分）で現在13時40分時点で後5人との説明あり、来院時の説明は会計が終わるまで3時間を超えることがあるとのことでしたが、ゆうに4時間は超えます。92才の母には厳しいです。

当日はお待たせしてしまい申し訳ございません。翌週が祝日だったために通常よりも多くの方に来院いただいております。また、網膜の血管病変の精密検査でご紹介だったため、眼底画像の撮影枚数が多く、診察前にお時間をいただく形となってしまいました。現在待ち時間短縮の取り組みを行っておりますので御理解いただきますと幸いです。引き続き加療は継続させていただきたい所存でありますので、よろしくお願い申し上げます。

【リハビリテーション病院 眼科】

編集後記

雨に想う

今年の6月は「しつこい梅雨」となり、大雨リスクが高まるとのことでした。この後記は先んじて書いており、皆様がこれを読まれる時にこの予想はどうなっているのでしょうか。しかし、今や梅雨に限らず、線状降水帯の発生など大雨に見舞われることは珍しくなく、また、何十年に一度という接頭語をつけた自然災害が頻発しております。地球規模で環境変化が続いており、対策を講じていかなければいけません。医療を取り巻く環境もまた大きく変化しています。今ある医療が今後もあるために、医療関係者・患者さん・地域が協調しなければなりません。良質な地域医療を維持していくためにも、地域の皆様とともに支え合いながら、これからの医療を大切に育てていければと思います。



広報・公開講座委員会：礒 良崇（藤が丘病院 循環器内科）

藤が丘病院
藤が丘リハビリテーション病院

6月号

June 2026

発行責任者：昭和医科大学藤が丘病院 病院長 鈴木 洋

編集責任者：広報・公開講座委員会 委員長 森岡 幹

編集：広報・公開講座委員会



病院だより

「病院だより」通巻第386号
令和8年6月1日発行
【毎月発行】



昭和医科大学